

「小さな拠点づくり」に向けた地域実態調査結果

1 調査の目的と内容

(1) 調査の目的

島根県の中山間地域^{※1}における住民の方々の生活の現状・課題や「小さな拠点づくり」^{※2}の進捗状況などを把握し、今後の施策を検討する際の基礎資料を得ることを目的にしています。

※1 島根県中山間地域活性化基本条例施行規則第2条に定める次の地域を指します。

- ① 過疎地域（過疎地域自立促進特別措置法）
- ② 特定農山村地域（特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律）
- ③ 辺地（辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律）
- ④ これらと同等に条件が不利である地域（高齢者（65歳以上）比率が過疎地域・特定農山村地域の平均以上又は若年者（15歳未満）比率が過疎地域・特定農山村地域の平均以下の地域）

※2 公民館エリアを基本とし、住民同士の話し合いを通じて地域運営（「生活機能の確保」「生活交通の確保」「地域産業の振興」）の仕組みづくりに取り組んでいくことを、中山間地域における「小さな拠点づくり」と呼んでいます。

平成30年度末現在、県内の236地区（公民館エリア）のうち118地区において「小さな拠点づくり」の取組が始まっています。

(2) 調査の内容

中山間地域において「集落人口調査」「集落基本情報調査」「小さな拠点づくり進捗状況調査」及び「生活機能状況調査」の4つの調査を実施し、それぞれの結果を分析しました。

集落単位の情報

① 集落人口調査

【調査対象】 3,448 集落^{※1}
（平成26年調査:3,356 集落）
【調査項目】 集落の人口、世帯数、高齢化率等
【調査手法】 市町村から全集落の人口データの提供を受け、中山間地域について集計・分析

② 集落基本情報調査

【調査対象】 3,691 集落^{※2}
（平成26年調査:3,356 集落）
【調査項目】 集落の活動内容、困りごと、活動の担い手等
【調査手法】 集落代表者へのアンケート調査
※アンケートの回収率 75.7%（2,793 集落）

※1 平成27年国勢調査結果の反映及び辺地の追加による中山間地域の範囲拡大等により増加

※2 集落代表者が実態を把握し、アンケートに答えられる単位が集落人口調査における「集落」より小さいレベルと判断した市町村があり、その結果、同調査の集落数より多くなっている。

公民館単位の情報

③ 小さな拠点づくり進捗状況調査

【調査対象】 236 地区（公民館エリア）
【調査項目】 公民館エリアの機能確保の状況等
【調査手法】 公民館、地域運営組織等へのヒアリング
※ヒアリングの実施率:100%

④ 生活機能状況調査

【調査対象】 236 地区（公民館エリア）
【調査項目】 商店、ガソリンスタンド、医療施設等の生活機能の状況
【調査手法】 各種公開情報及び③のヒアリングでの確認

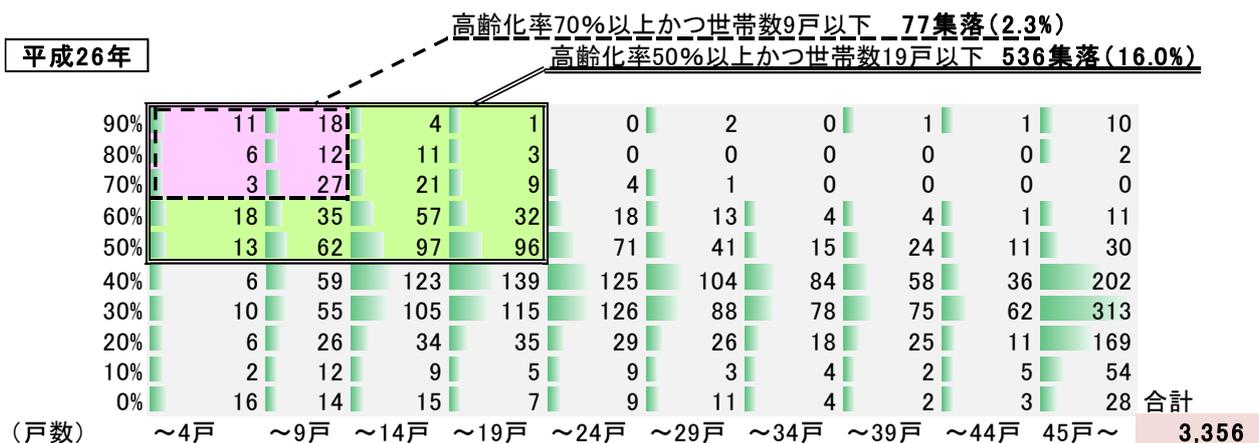
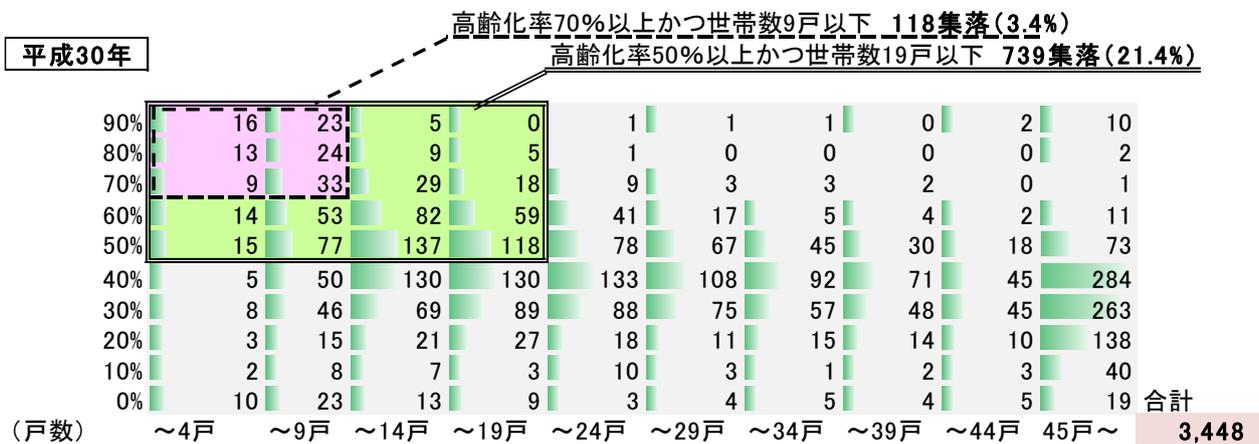
2

集落の人口・高齢化等の状況

(1) 集落の人口・高齢化の状況

- 高齢化率 50%以上かつ世帯数 19 戸以下の集落の占める割合が、前回調査（平成 26 年）の 16.0%から 5.4 ポイント上昇し、平成 30 年では 21.4%となっています。
- そのうち、高齢化率 70%以上かつ世帯数 9 戸以下の集落の占める割合は、前回調査の 2.3%から 1.1 ポイント上昇し、平成 30 年では 3.4%となっています。
- 平成 16 年と比較して集落の平均人口は 17.3 人減少し、高齢化率は 9.6 ポイント増加しており、人口減少と高齢化が進んでいます。

■ 集落の高齢化率と世帯数の状況（集落人口調査）



■ 集落の人口構成の比較（集落人口調査）

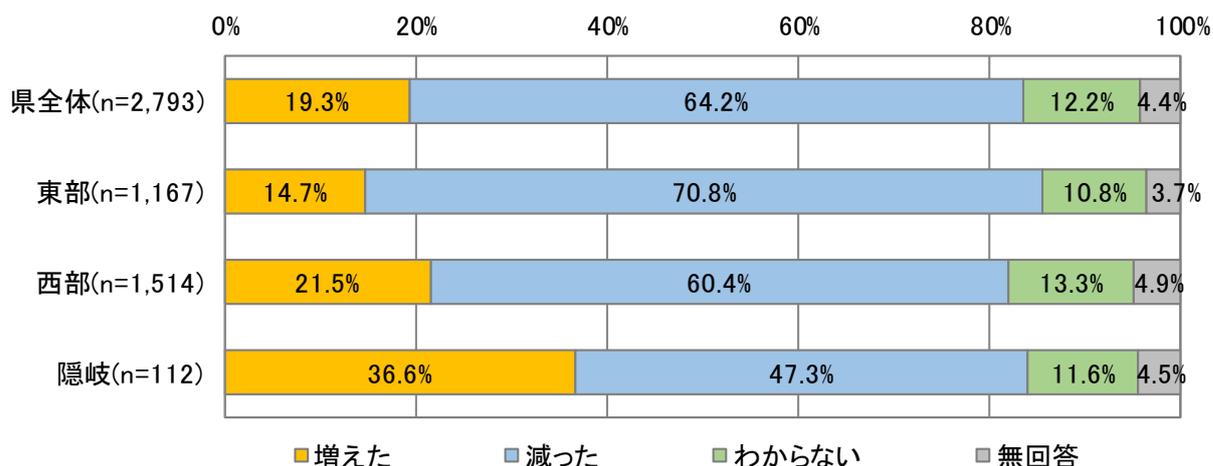
2,482集落※の比較	H16	H22	H26	H30
集落の平均人口	87.6人	79.8人	75.3人	70.3人
集落の高齢化率	32.6%	35.1%	37.5%	42.2%

※比較可能な集落のみ抽出

(2) 集落における若い世代の増減の状況

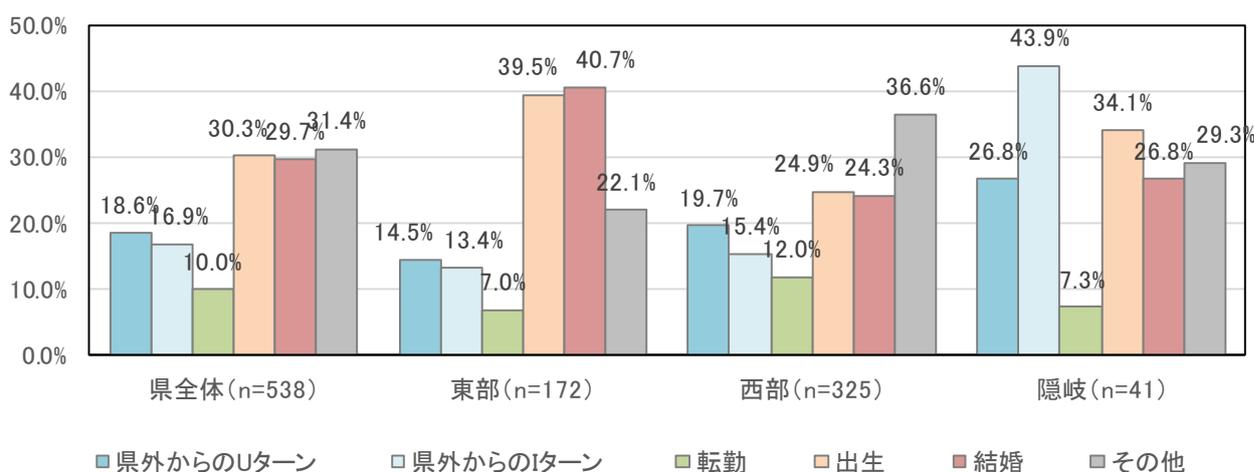
- 集落代表者へのアンケート調査によると、県全体の19.3%の集落で40歳以下の若い世代の人口が増えたと認識しています。
- 若い世代の人口が増えたと回答のあった集落の割合は、隠岐が36.6%、西部が21.5%と県全体の中山間地域より高くなっています。

■ 集落内の若い世代(40歳以下)の5年前と比較した増減(集落基本情報調査)



- 若い世代の増加要因をみると、東部及び西部では出生、結婚等が比較的多くなっています。
- 一方、隠岐では、県外からのIターンが43.9%と最も多くなっているほか、東部や西部に比べて県外からのUターンも多くなっています。

■ 若い世代の人口が増加した理由(集落基本情報調査)



「その他」の内訳(主なもの)

東部・・・県内からの移住、新築や空き家への入居

西部・・・新築や空き家への入居、県内からの移住、アパート・団地等への入居

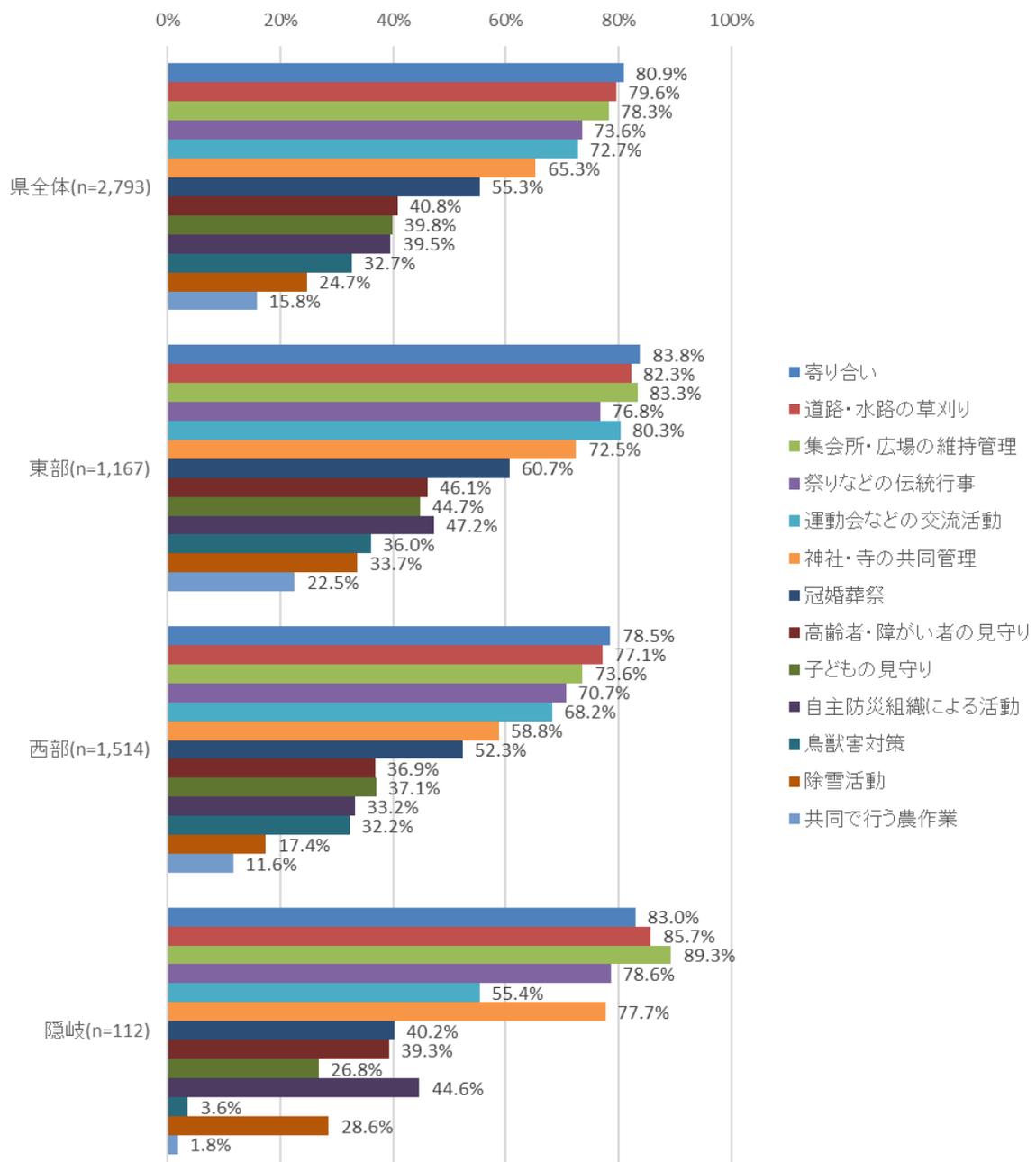
隠岐・・・県内からの移住、親の家への同居等

3

集落での活動の状況

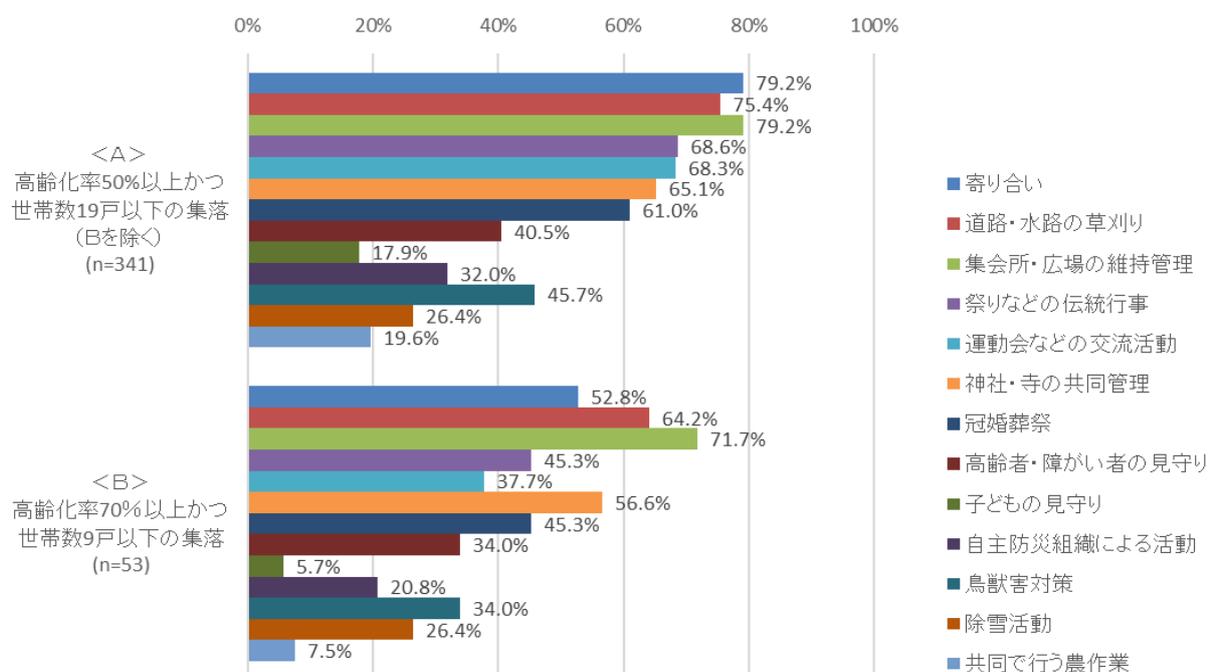
- 集落代表者へのアンケート調査によると、県全体では、「寄り合い」「道路・水路の草刈り」「集会所・広場の維持管理」「祭りなどの伝統行事」「運動会などの交流活動」等の実施率が高くなっています。
- 隠岐では、東部や西部に比べ、「運動会などの交流活動」「鳥獣害対策」等の実施率が低く、「神社・寺の共同管理」等の実施率が高くなっています。

■ 集落活動の実施率（集落基本情報調査）



- 高齢化率 70%以上かつ世帯数 9 戸以下の集落においては、全体として実施率が低くなっており、「寄り合い」の実施率も 5 割程度となっておりますが、「鳥獣害対策」「除雪活動」は県全体よりやや高くなっています。

■ 集落活動の実施率（集落基本情報調査）



※上記のA及びBの集落数は、いずれも県全体の集落数の内数（以下同じ）

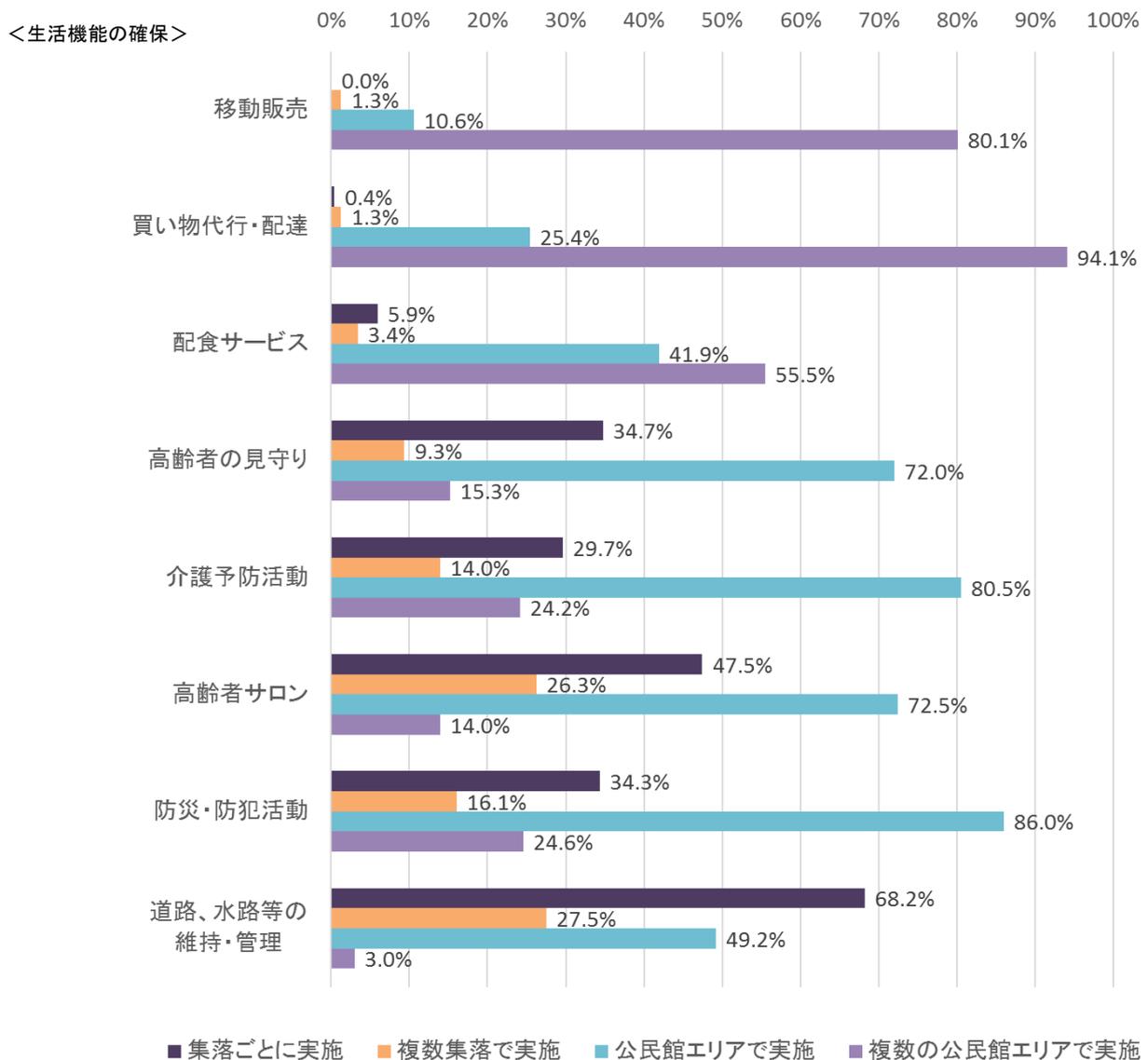
4

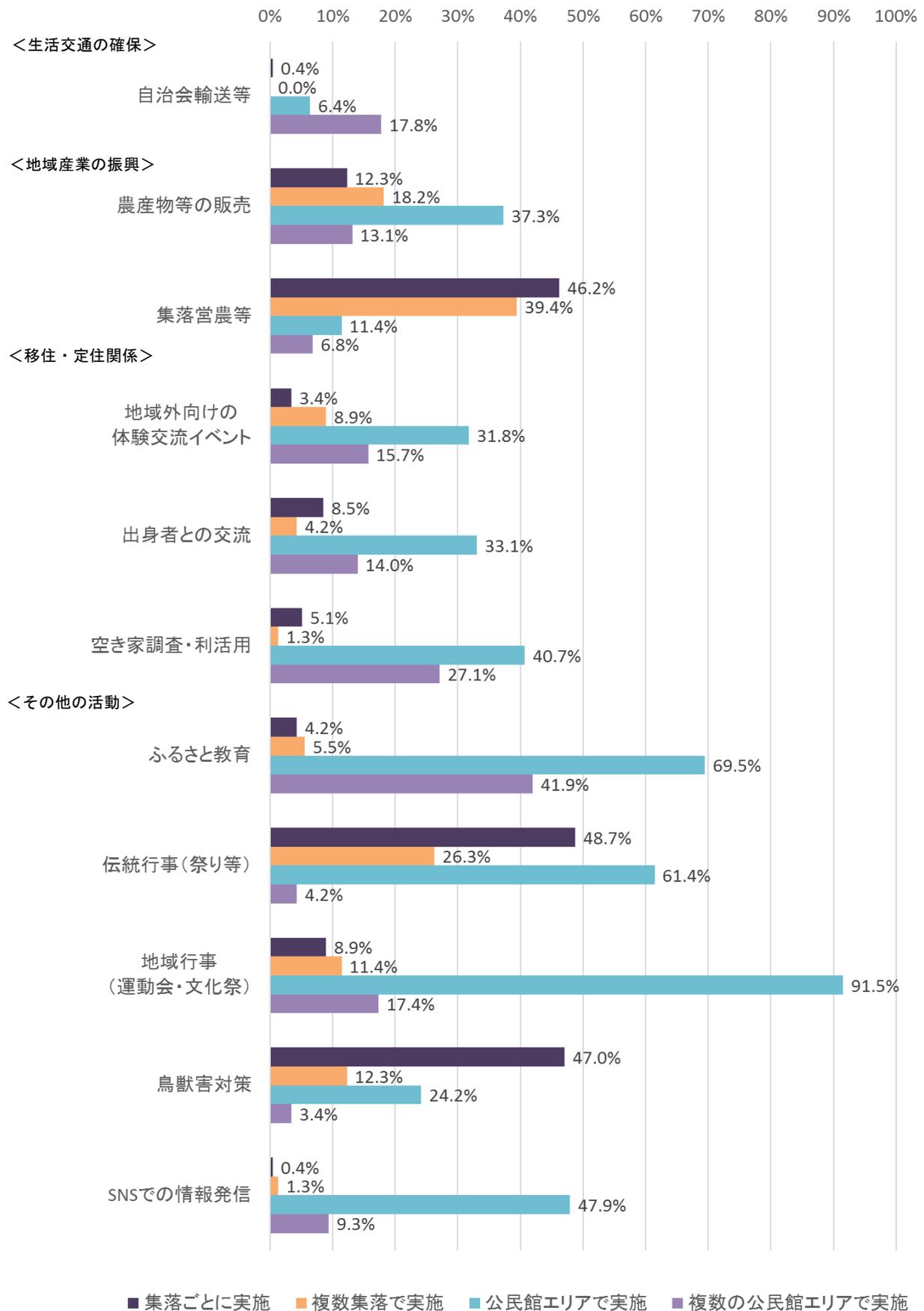
公民館エリア等の状況

(1) 公民館エリア等での機能確保の状況 (236 公民館エリア)

- 「地域行事（運動会・文化祭）」「防災・防犯活動」「介護予防活動」等は、公民館エリアでの実施率が高くなっています。
- 「買い物代行・配達」「移動販売」「配食サービス」等は、複数の公民館エリアでの実施率が高くなっています。
- 「道路、水路等の維持・管理」「鳥獣害対策」等は、集落での実施率が高くなっています。

■ 地域における機能確保の状況（小さな拠点づくり進捗状況調査）



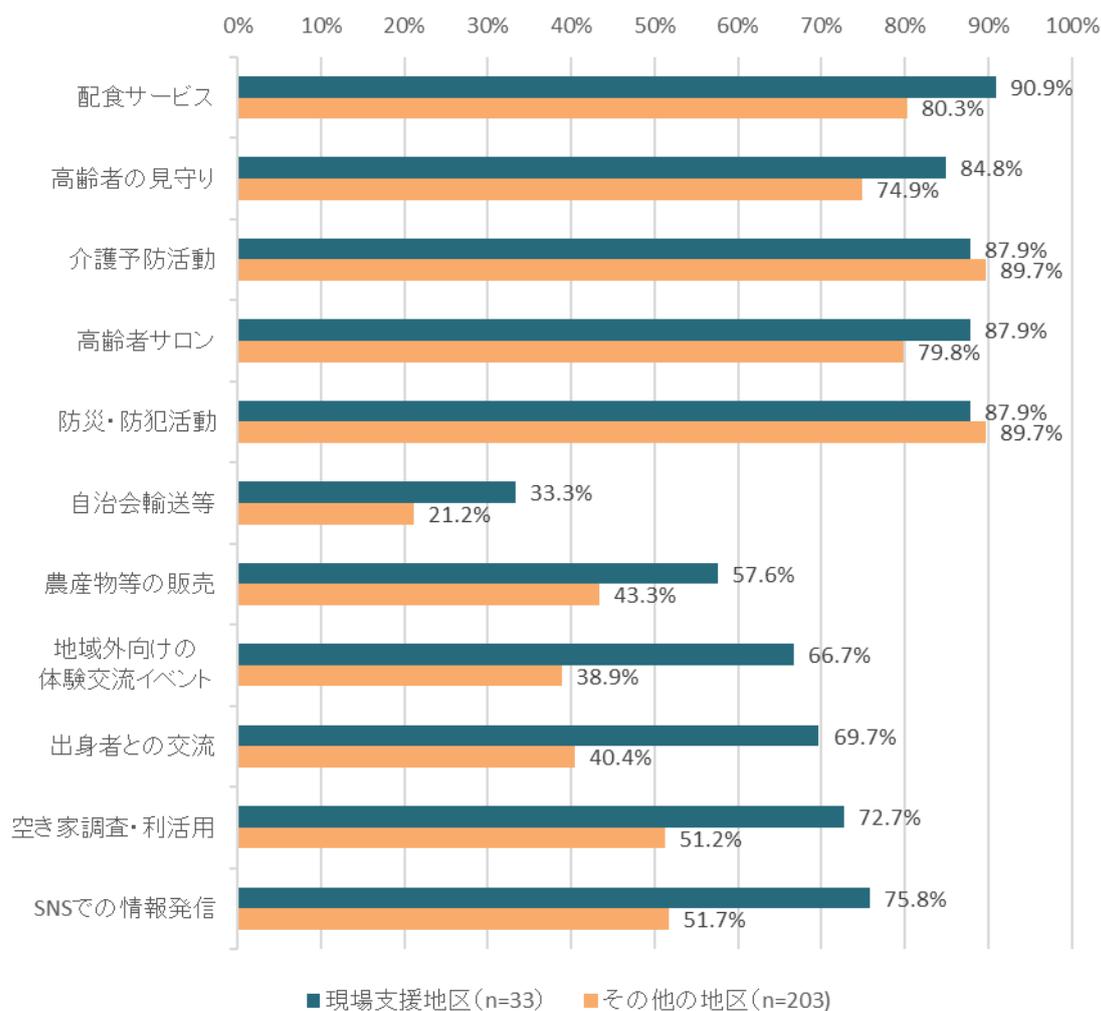


(2) 現場支援地区での機能確保の状況

- 県の現場支援地区※（支援を一旦終了した地区を含む。）では、「配食サービス」「高齢者サロン」等の実施率が特に高くなっています。
- また、その他の地区に比べ、「出身者との交流」「地域外向けの体験交流イベント」等の実施率が高くなっています。
- 「高齢者サロン」等福祉関係については、以前より社会福祉協議会等の担い手により多くの地域で実施されていると考えられます。
- 地域産業の振興、移住・定住関係については、現場支援により住民の機運醸成が進み、住民のグループ等が担い手となって実施されている地区が増えていると考えられます。

※地域の課題が明確な場合に、島根県中山間地域研究センターの研究者をはじめとした県の職員が市町村と連携して地域の動きに直接加わり、計画づくりや課題解決に向けた取組の実践などを継続的かつ総合的に支援している公民館エリア（民間の力により地域をサポートする組織（中間支援組織）が支援するものを含む。）

■現場支援の有無と機能確保との関係（小さな拠点づくり進捗状況調査）

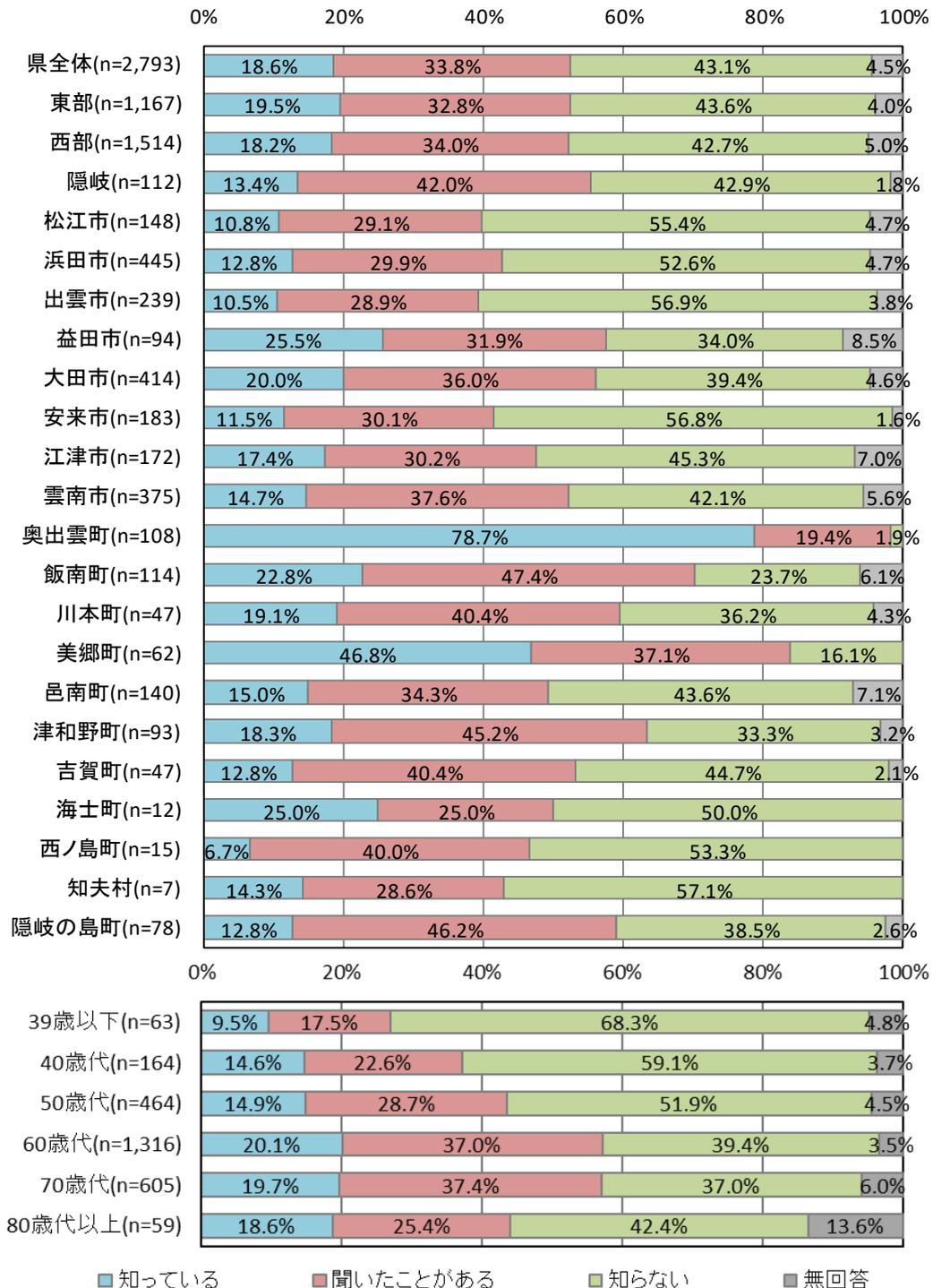


※「移動販売」など民間事業者が担うことが多いもの、「道路、水路等の維持・管理」など集落単位での実施率が最も高いものを除く。

※現場支援地区は、平成29年度末時点。支援を一旦終了した地区を含む。

- 集落代表者へのアンケート調査によると、県全体では、「知っている」と「聞いたことがある」を合わせて52.4%の集落代表者が「小さな拠点づくり」を認識しています。
- 市町村別では、奥出雲町で「知っている」が78.7%と特に高くなっています。
- 集落代表者の年代別では、若くなるほど認知度が低くなる傾向が見られます。

■ 「小さな拠点づくり」の認知度 (集落基本情報調査)



※集落代表者のうち年代を回答していない者がいるため、年代別の回答数の合計は県全体の回答数 (n=2,793) と一致しない。

6

公民館エリアにおける生活機能の状況

- 2,000 人程度の人口規模がある公民館エリアにおいては、日常生活に必要な機能・サービスは概ね維持されています。
- 一方で、人口規模が小さくなるにつれて、これらが失われつつある状況がみられます。
- こうした傾向は、前回の調査と大きな変化はありません。

■ 公民館エリアの生活機能等の状況（上段：実数、下段：比率）

（生活機能状況調査）

平成30年（調査期間：平成30年7～12月）

	地区数	食料品等の買い物					公民館	金融機関	医療・福祉			集落営農組織	地域運営組織	
		大型店舗	スーパー等	コンビニ	個人商店	GS			病院	診療所	介護施設			
		(地区数、%)												
全地区	236	23 (9.7%)	44 (18.6%)	50 (21.2%)	197 (83.5%)	112 (47.5%)	220 (93.2%)	209 (88.6%)	19 (8.1%)	131 (55.5%)	148 (62.7%)	161 (68.2%)	205 (86.9%)	
人口規模別	～499人	65	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.5%)	41 (63.1%)	10 (15.4%)	58 (89.2%)	43 (66.2%)	0 (0.0%)	19 (29.2%)	20 (30.8%)	43 (66.2%)	59 (90.8%)
	500人～	73	2 (2.7%)	7 (9.6%)	6 (8.2%)	64 (87.7%)	34 (46.6%)	68 (93.2%)	69 (94.5%)	1 (1.4%)	40 (54.8%)	38 (52.1%)	50 (68.5%)	61 (83.6%)
	1,000人～	34	4 (11.8%)	5 (14.7%)	7 (20.6%)	31 (91.2%)	16 (47.1%)	32 (94.1%)	34 (100.0%)	1 (2.9%)	20 (58.8%)	28 (82.4%)	23 (67.6%)	30 (88.2%)
	1,500人～	30	2 (6.7%)	9 (30.0%)	6 (20.0%)	27 (90.0%)	19 (63.3%)	28 (93.3%)	29 (96.7%)	5 (16.7%)	19 (63.3%)	28 (93.3%)	22 (73.3%)	29 (96.7%)
	2,000人～	34	15 (44.1%)	23 (67.6%)	30 (88.2%)	34 (100.0%)	33 (97.1%)	34 (100.0%)	34 (100.0%)	12 (35.3%)	33 (97.1%)	34 (100.0%)	23 (67.6%)	26 (76.5%)

平成27年

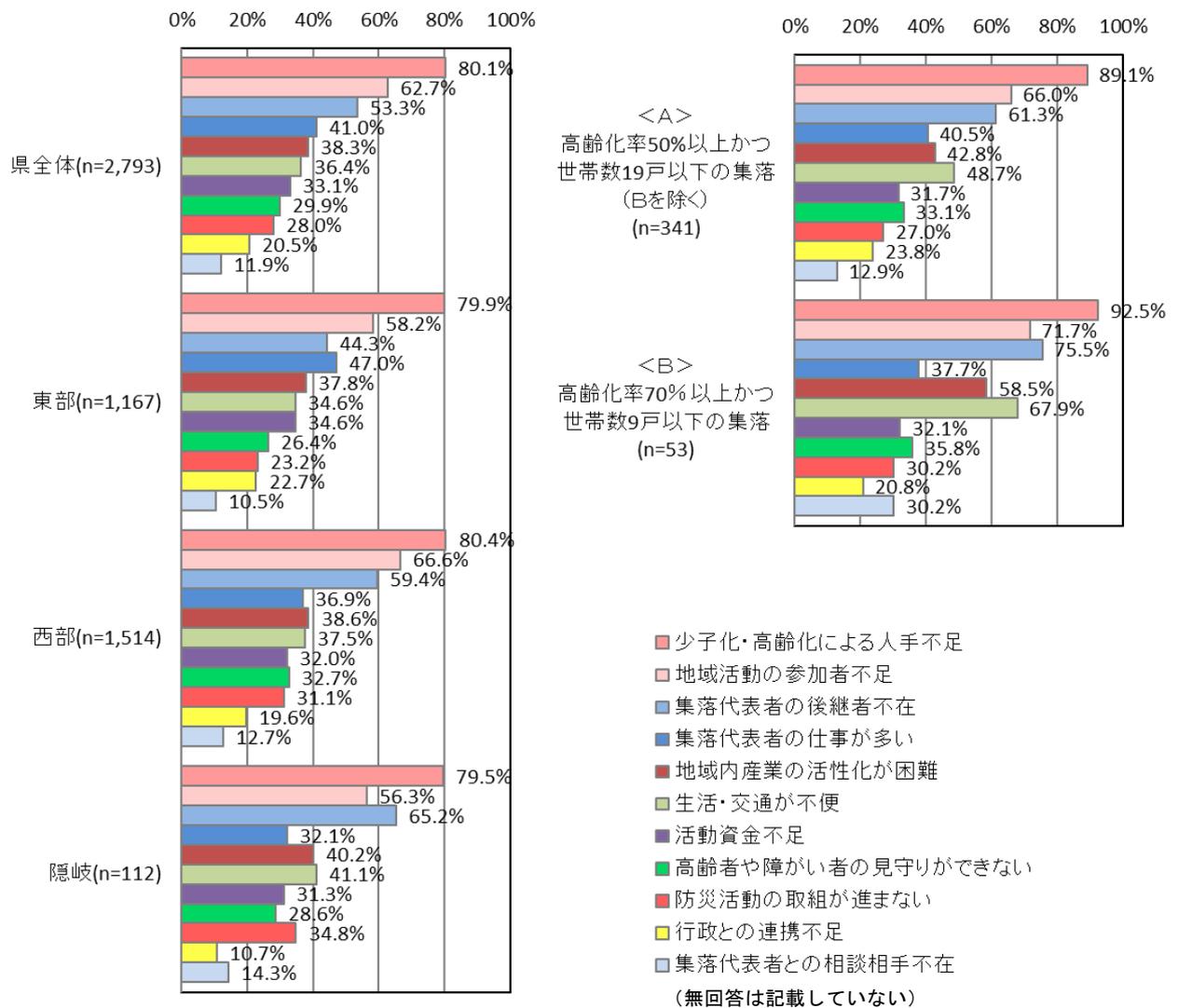
	地区数	食料品等の買い物					公民館	金融機関	医療・福祉			集落営農組織	地域運営組織	
		大型店舗	スーパー等	コンビニ	個人商店	GS			病院	診療所	介護施設			
		(地区数、%)												
全地区	227	24 (10.6%)	75 (33.0%)	50 (22.0%)	180 (79.3%)	113 (49.8%)	204 (89.9%)	194 (85.5%)	20 (8.8%)	127 (55.9%)	141 (62.1%)	149 (65.6%)	173 (76.2%)	
人口規模別	～499人	57	0 (0.0%)	2 (3.5%)	0 (0.0%)	31 (54.4%)	7 (12.3%)	48 (84.2%)	38 (66.7%)	0 (0.0%)	16 (28.1%)	19 (33.3%)	32 (56.1%)	44 (77.2%)
	500人～	75	4 (5.3%)	22 (29.3%)	8 (10.7%)	61 (81.3%)	34 (45.3%)	66 (88.0%)	65 (86.7%)	1 (1.3%)	39 (52.0%)	36 (48.0%)	49 (65.3%)	57 (76.0%)
	1,000人～	27	1 (3.7%)	12 (44.4%)	5 (18.5%)	26 (96.3%)	16 (59.3%)	24 (88.9%)	26 (96.3%)	2 (7.4%)	16 (59.3%)	20 (74.1%)	18 (66.7%)	21 (77.8%)
	1,500人～	28	3 (10.7%)	11 (39.3%)	6 (21.4%)	27 (96.4%)	19 (67.9%)	26 (92.9%)	26 (92.9%)	3 (10.7%)	22 (78.6%)	26 (92.9%)	22 (78.6%)	19 (67.9%)
	2,000人～	40	16 (40.0%)	28 (70.0%)	31 (77.5%)	35 (87.5%)	37 (92.5%)	40 (100.0%)	39 (97.5%)	14 (35.0%)	34 (85.0%)	40 (100.0%)	28 (70.0%)	32 (80.0%)

 70%以上の公民館エリアで存在

(1) 集落の困りごとの状況

- 集落代表者へのアンケート調査によると、県全体では、集落の困りごととして「少子化・高齢化による人手不足」「地域活動の参加者不足」「集落代表者の後継者不在」等の回答が多くなっており、集落の活動の担い手不足が大きな課題となっています。
- 小規模かつ高齢化の進んだ集落では、これらに加えて、「生活・交通が不便」等が大きな課題となっています。

■ 集落の困りごと（集落基本情報調査）

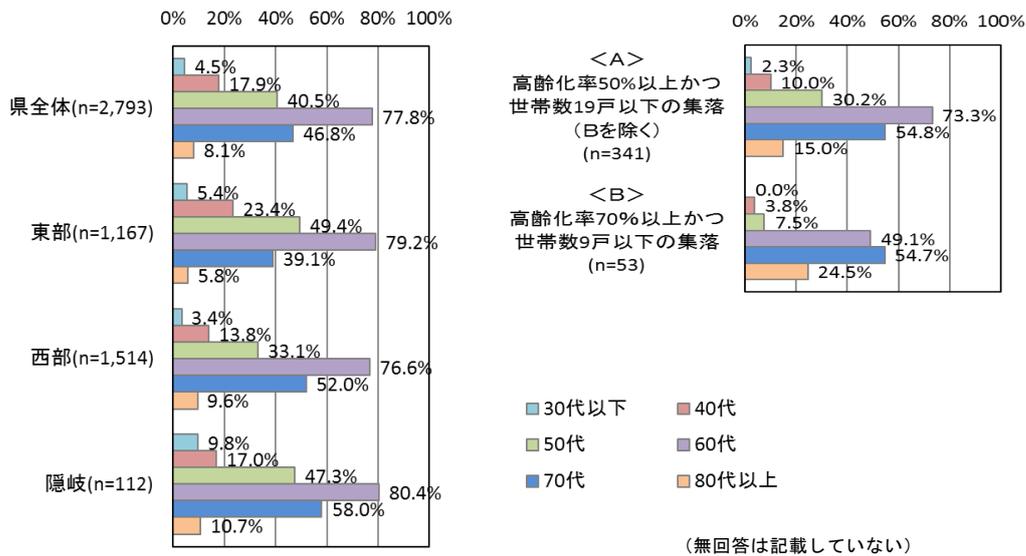


(2) 集落活動の中心的な担い手と若い世代の参加状況

① 集落活動を中心的に担う世代の状況

- 集落代表者へのアンケート調査によると、県全体では、集落の活動を中心的に担っているのは50～70歳代で、60歳代が最も多くなっています。
- 高齢化率70%以上かつ世帯数9戸以下の集落では、70歳代が最も多くなっています。

■ 中心的に活動を担う世代（集落基本情報調査）



② 若い世代の集落活動への参加状況

- 集落代表者へのアンケート調査によると、県全体での集落活動への若い世代(40歳代以下)の参加状況は、「多くが参加している」「特定の人、数名が参加している」を合わせて52.1%で、「ほとんどの人が参加していない」「若い世代がいない」は合わせて42.0%です。
- 隠岐では「多くが参加している」が東部や西部に比べて高く、小規模かつ高齢化の進んだ集落では、「若い世代がいない」が半数程度となっています。

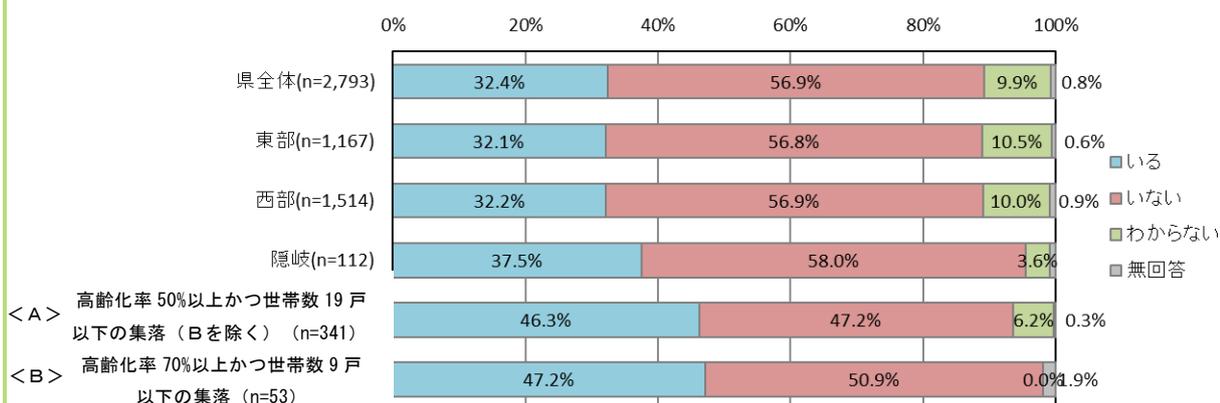
■ 若い世代(40歳代以下)の集落活動への参加状況(集落基本情報調査)



(3) 集落外からの集落活動への参加状況

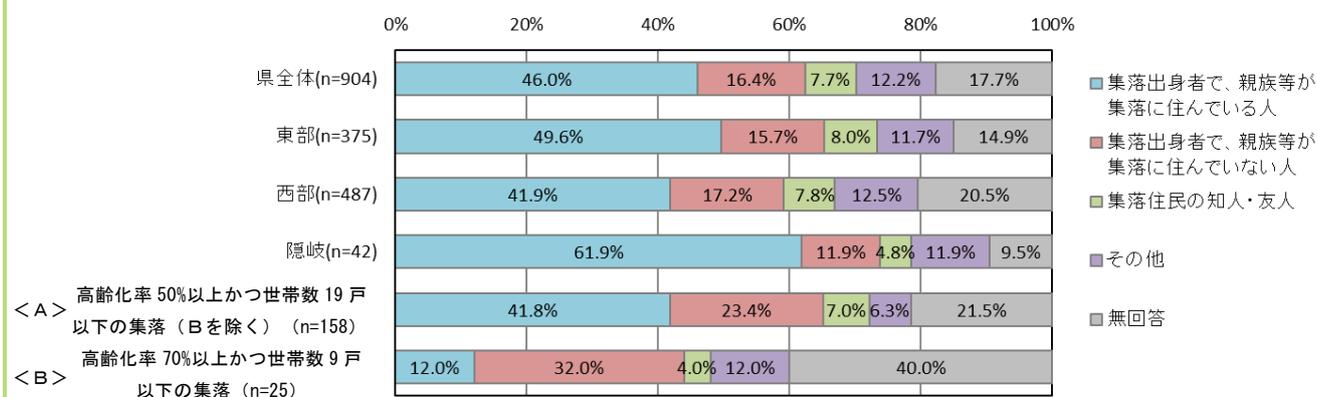
- 集落代表者へのアンケート調査によると、県全体の約3割の集落において、集落外から集落活動への参加があります。小規模かつ高齢化の進んだ集落では半数近くになっています。
- 「集落出身者で、親族等が集落に住んでいる人」の参加が多くなっていますが、高齢化率70%以上かつ世帯数9戸以下の集落では、「集落出身者で、親族等が集落に住んでいない人」が32.0%と多くなっています。
- 活動内容は、「道路・水路の草刈り」「祭りなどの伝統行事」が多くなっています。

■ 集落外からの集落活動への参加状況（集落基本情報調査）

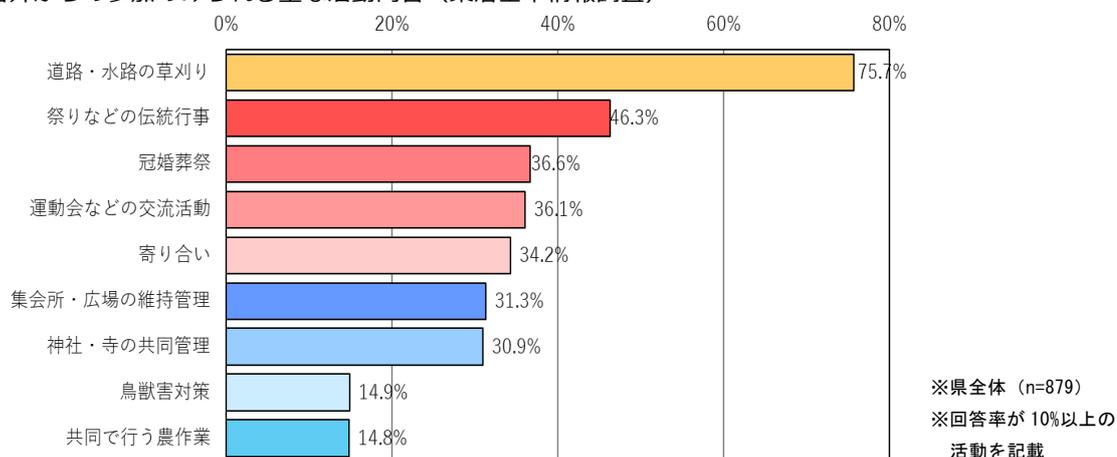


■ 上記の参加者の属性（集落基本情報調査）

(集落外からの参加者の属性で最も人数が多いもの)

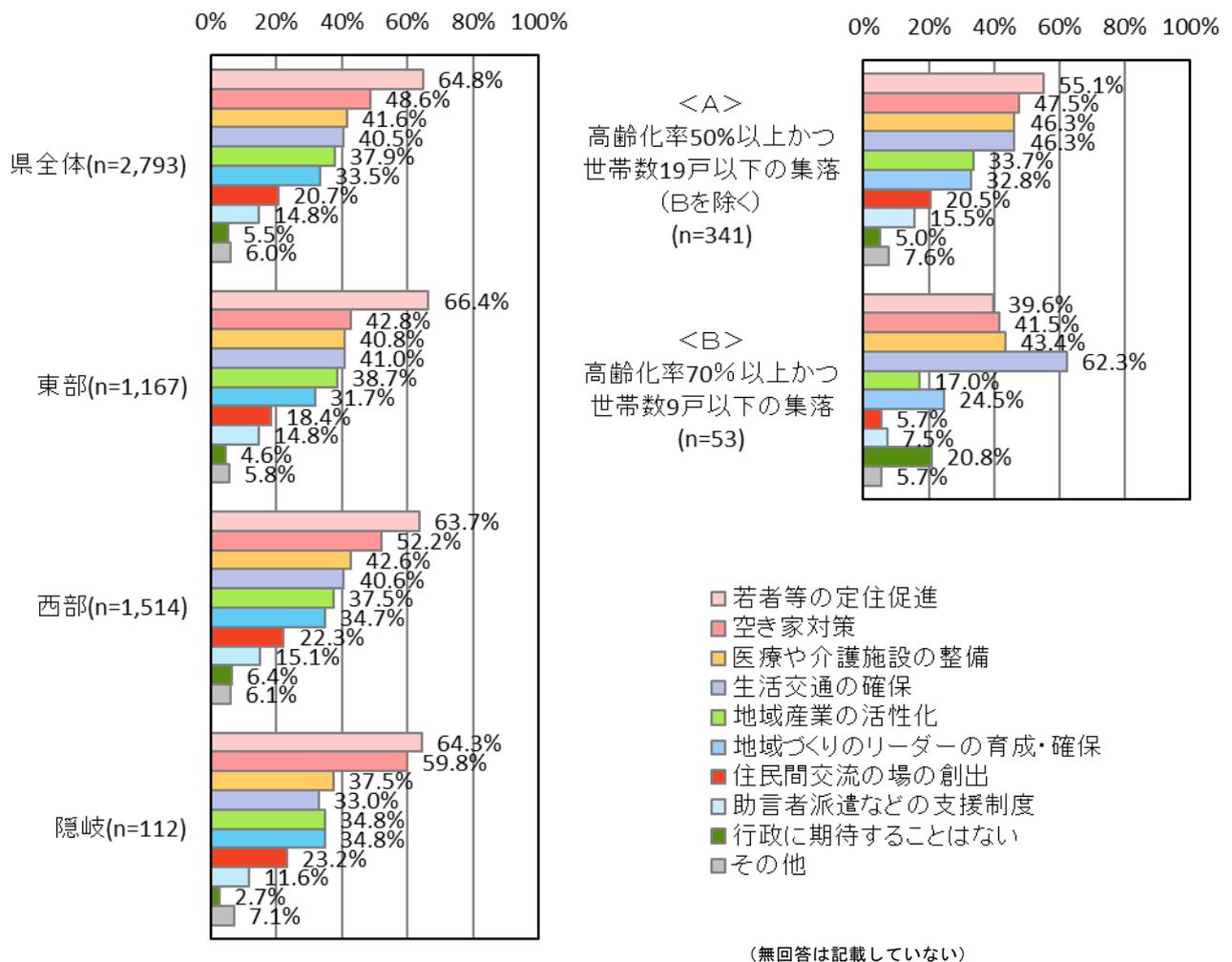


■ 集落外からの参加のみられる主な活動内容（集落基本情報調査）



- 集落代表者へのアンケート調査によると、行政に期待することとして、県全体では「若者等の定住促進」が最も多く、次いで「空き家対策」、「医療や介護施設の整備」、「生活交通の確保」、「地域産業の活性化」、「地域づくりのリーダーの育成・確保」が多くなっています。
- 高齢化率70%以上かつ世帯数9戸以下の集落では、「生活交通の確保」が最も多くなっています。

■ 行政に期待すること（集落基本情報調査）



【問合せ先】 島根県地域振興部しまね暮らし推進課中山間地域支援スタッフ

電話：0852-22-6449

島根県中山間地域研究センター地域研究科

電話：0854-76-3830